



こうきた 7月号

杉並区立高円寺北子供園

「今、大切に思うこと～絵本～」

主査 永久 昌子

分散登園ではありますが、お弁当も始まり、子どもたちの笑い声が園内に響くようになりました。にじ組の保育室からは「先生みて～、さなぎになったよ!」と飼育箱の中の変化をいち早く知らせようとする子どもたちの好奇心あふれる姿が見られます。また登園の度に“こどもえんたのしい”と嬉しそうに遊ぶたんぼぼ組の姿が、徐々に日常の園生活を取り戻してきていると実感しています。

引き続き保護者の皆さまには、子どもたちが健康で安心して遊べるよう、新型コロナウイルス感染症対策のためのご理解ご協力よろしく願っています。

本園では感染予防策を講じながら、絵本の貸し出しも始めました。毎回「今日はどれにしようかな。」「これもいいけど、あっちもいいなあ。」「これ楽しかったね。」と目をキラキラさせて親子で絵本を選ぶ姿に、とても温かい気持ちになります。改めて絵本の魅力、絵本の世界の素晴らしさを実感しています。

私たちは、自分の考えや感情を心で思ったり、誰かに喋ったりしています。その時、自分の考えや言いたいことが表現できているだろう、相手にも伝わっているだろうと思いがちです。本当に伝わっているのでしょうか。私たちは自分のもち合わせている言葉、自在に操られる言葉で考えを表現しています。言葉の質と量が貧しければ表現も貧しく、考えや感情も貧しいものとなってしまいます。子どもたちが一緒に遊ぶ時、ちょっとしたことでトラブルになることがあります。それは互いに言葉による表現が十分ではなかったということも多いのです。

たくさんの言葉を自分のものとして獲得することは、実はたくさんの考えをもつことにもなるのです。たくさんの考えをもてば、より深く考えることにつながり、広く大きな可能性を手にすることができるのです。大人も当然ですが、幼児期には特に相手に伝えるための楽しい言葉、うれしい言葉、様々な表現ができる言葉をより多く増やしてほしいのです。そのためにも、絵本はとても有効だと私は思っています。

絵本は、子どもの言葉を豊かに育み、考えや感情表現を引き出すだけでなく、心を豊かにしてくれます。そして大好きなお家の方や身近な人の愛情を感じ、愛のある言葉に触れ、想像力をも育ててくれることでしょう。



もりもり週間

7月6日（月）～7月10日（金）

お手伝いをしよう！ ～こんなことができるよ～

洗う～ジャガイモやニンジンなど、形がしっかりしたものを手やたわしでこする。

皮をむく～ピーラーなどの道具を使ったり、茹でて冷ましたジャガイモの皮むき、
枝豆のさやむきをしたりする。

ちぎる～レタスや柔らかい葉菜類など。

混ぜる～サラダや和え物など。

こねる～ハンバーグの生地など。

お米をとぐ

自分が手伝ってできた食事は格別美味しいものです。「食」への興味が深まるきっかけにもなりますので、時間のある時に、是非一緒に親子でお料理タイムを楽しんでください。

☆ たんぼぼ組がテラスで育てているトマトが実をつけ始めました。まだ青いトマトのため、「これがトマト？」と大きく赤くなることを楽しみにしています。

にじ組はテラスでは、ナス・オクラ。畑では、ジャガイモに毎日交代で水をあげたり草むしりをしたりしています。畑で育てているジャガイモは、大きくなり収穫間近となってきました。大きなジャガイモができていますか、楽しみです。

ジャガイモは、エネルギー源として優れています。ビタミンC・ビタミンB1・B6などのビタミン類、カリウムやマグネシウムなどのミネラル、食物繊維なども含まれています。

子どもたちが好きなフライドポテト、粉ふき芋、ジャーマンポテトなど、ジャガイモを使った料理をお弁当に入れてはいかがでしょうか？